

科目名	人文学演習 I D					単位	2.0
担当教員	石川 洋子						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	3331

●授業のテーマ

国語学の研究を進める。

●到達目標

卒業論文のテーマを発見する。

●学習内容(授業概要)

「国語学」とは、国語を研究対象とする学問である。

「人文学演習 I D・II D・III D・IV D」は、国語学での卒業論文を執筆する予定の学生を対象として、国語学の基礎的知識を学び、基本的な研究方法を理解し身に付ける。

「人文学演習 I D」では、発表者は、興味のあるテーマに関する作品、または、論文を選び、それを前の週に全員に配布し、それを次の授業時間までに全員が読んでくる。発表者は、毎時、配付した資料に基づいて、どこに興味があるのか、テーマにするとすればそれは何か等について発表し、参加者全員で議論する。

各自が数回発表する中で、卒業論文のテーマを発見していく。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 卒業論文について
2. 卒業論文を書くための国語学の文献について
3. 発表と質疑応答。(1) 上代、古事記〈一人25分×3人〉
4. 発表と質疑応答。(2) 上代、日本書紀〈一人25分×3人〉
5. 発表と質疑応答。(3) 上代、万葉集〈一人25分×3人〉
6. 発表と質疑応答。(4) 中古、竹取物語〈一人25分×3人〉
7. 発表と質疑応答。(5) 中古、土佐日記〈一人25分×3人〉
8. 発表と質疑応答。(6) 中古、古今和歌集〈一人25分×3人〉
9. 発表と質疑応答。(7) 中世、平家物語〈一人25分×3人〉
10. 発表と質疑応答。(8) 中世、徒然草〈一人25分×3人〉
11. 発表と質疑応答。(9) 中世、論語抄〈一人25分×3人〉
12. 発表と質疑応答。(10) 近世、論語参解〈一人25分×3人〉
13. 発表と質疑応答。(11) 近世、夢酔独言〈一人25分×3人〉
14. 発表と質疑応答。(12) 近世、浮世風呂〈一人25分×3人〉
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

発表者は、発表の前の週に、興味のあるテーマに関する作品、または、論文を選び、全員に配布し、それを次の授業時間までに全員が読んでおく。発表者は、配付した資料に基づいて発表の準備をする。

発表者は、事後に、発表したこと、質疑応答での修正等をまとめておく。

●成績評価方法・基準

レポート試験 60%、平常点 40%

●テキスト（必携）

講義の中で指示する。

●参考文献／その他

講義の中で指示する。

●履修上の注意

自らの発表準備・発表時はもちろんのこと、他の学生の発表時にも積極的に授業に参加すること。